大府市災害廃棄物仮置場設置・運営訓練

日　　時　令和7年11月17日(月)準備10:00～ 訓練13:00～
場　　所　メディアス体育館おおぶ
参 加 者　53名(うち大府市役所4名、尾張4市5町8名、知多県民事務所2名、尾張南支部協会員39名)

大府市は、近年、地震や集中豪雨災害による災害が各地で頻発しており、あらためて災害発生時には事前の備えが重要であるという考えのもと、尾張南支部(都筑章支部長)はじめ、関係団体、自治区有志の協力を得て、メディアス体育館おおぶにおいて大府市主催としては第1回目となる災害廃棄物の仮置場設置・運営訓練を開催しました。運営訓練の目的は、災害廃棄物処理を円滑に進めるため、各会員の資質向上と関係機関との連携を強化することです。

岡村秀人大府市長

都筑章支部長

岡村秀人大府市長より「皆さま、本日はご参加・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。行政のみならず、一般社団法人 愛知県産業資源循環協会の皆さま、そして近隣にお住まいの市民の皆さまと、顔の見える関係を築きながら、互いに有事の際に支え合う広域的な連携の絆を一層深める、貴重な機会となることを期待しております。日頃からのこうした協力体制が、いざという時に大きな力となります。本日の訓練を通じて、地域全体の対応力・防災力がさらに向上することを心より願っております。」とごあいさつをいただきました。都筑支部長からは「今回、初めての合同訓練を実施することで、これまで見えにくかった課題も明らかになってくるものと思います。そのような気づきを、次回以降の訓練に生かし、より実りある取り組みへとつなげていただければ幸いです。また、私どももこのような活動を継続していくことで、各市町の行政の皆さまと顔の見える関係をさらに構築してまいりたいと考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。」とあいさつがあり、訓練がスタートしました。

ごみ処理の流れ

① 仮置場資機材設置等
(三角コーン、看板等を用いて仮置場のレイアウトを作成)

② 災害廃棄物搬入の受付
(市民搬入時の受付手順の確認)

③ 搬入された災害廃棄物の積み降ろし
(市民が搬入した災害廃棄物を仮置場に積み降ろしする)

④ 災害廃棄物の搬出
(仮置場に搬入された災害廃棄物を大型車両で搬出する)

愛産協災害廃棄物処理対策
特別委員会
山本浩也委員長

訓練の終わりでは、愛産協の災害廃棄物処理対策特別委員会の山本浩也委員長より「本日は気温の高い中でしたが、皆さまお疲れ様でした。第1回目の今回は舗装場所での実施となり、有害物質への対応を考えると適切な環境で行えたと思います。また、高齢者対応や危険物持ち込み、代理人対応など、発災時を想定した多様なシナリオが用意されており、大変実践的な訓練でした。単品・混載のルートに加えて出口動線も分けられていた点も非常に良かったです。次回は、場内に入る前段階にも単品用ファストレーンを設けることや、品目伝達方法、アスベスト対応、市民参加のあり方などをご検討いただければと思います。災害時は初動が重要です。本日の学びをマニュアルの改善に生かし、今後の訓練の充実につながることを期待しております。ありがとうございました。」と総評いただき訓練は終了しました。